



アルゼンチン通信



第19号 2026年02月27日発行(毎月月末発行予定)

JICAシニア海外協力隊2024年1次隊:経営管理

玉東町グローバル2024年03月卒業生

鈴木功二 サンティアゴ・デル・エステロ在住

・2月は、バケーションシーズンの後半、学校が休みで、日中は夏の暑い日が続くので、一カ月近い休暇を取得する人がいて、オフィス内は閑散としています。1月の真夏は過ぎたので、日の出は徐々に遅くなり、今は7時頃になってようやく明るくなり始めるようになり、日没は20時近くで、日本の感覚では遅めです。

・夜は一般的に昼間より危険なので出歩かないようにしてきましたが、私が住んでいるサンティアゴデルエステロは、日中は日差しが強く暑く、女性が一人でスマホ歩きをしているほど治安がよいので、私は日没後の20時以降に散歩や買い物に出掛けるようにしています。

・2月は、16日と17日がカーニバルで祝日で、土日と合わせて4連休でした。去年のカーニバルは3月初めだったので、この祝日は毎年大きく変わります。カーニバルと言えば、ブラジルのリオのカーニバルが有名ですが、アルゼンチンでも地域によってはカーニバルのパレードが盛んで、1840年から始まったグアレグアイチュ(首都ブエノスアイレスから北西に230km)のカーニバルがアルゼンチンカーニバルの起源と言われ、それはサンバでリオのカーニバルに似ています。ブエノスアイレスでは、ムルガスと呼ばれる踊りがあり、サルタ(アルゼンチン北部の州)ではアンデス文化と融合した踊りがあり、地方によって違うので、カーニバル=リオのようなサンバのパレードではありません。私が住んでいるサンティアゴデルエステロでは、この祝日は野外コンサート等のイベントがあっただけでしたが、2月27日と28日は、コルソ2026というカーニバルのような祭りがありました。日中暑くシエスタの習慣があるとはいえ、開始時間が22時からで、しかも、家族連れで子供が多い、子供のダンサーもいたのが印象的です。新聞報道によると、ダンサーは1500人以上、観客は延べ4万人だったようなので、40万人の地方都市としては大規模な祭りです。あの熱気の中で大人も子供も踊り叫び続ける人々を見ていると感覚の違いを感じますが、日本にも祭りに熱中する人はいるので、単に性格の違いなのかもしれません。

・2月14日は、こちらでも一応バレンタインの日ですが、日本では廃れつつある「女性から男性へチョコを贈る」という習慣は元々なく、恋人同士で贈り物をする人はいるようですが、こちらでは誕生日の方がずっと重要なのは、肌身に染みて判ります。

【グアレグアイチュのカーニバル】



【コルソ2026の宣伝ポスター】

開始時間は21:30、終了時間は書いてないが、02:00頃の予定らしい。



【サルタのカーニバル】



【コルソ2026】





・2月19日は、私が住んでいる地方都市では珍しく、ゼネスト(ゼネラル・ストライキ)があり、公共のバスだけでなく、私が日頃利用している列車も動かなかったのので、その日は自宅勤務になりました。「ゼネスト」は、日本では50年近く起きていないので知らない人も多いと思いますが、全国レベルのストライキです。バスだけや飛行機だけのストはたまにあるのですが、今回はアルゼンチン最大の労働組合であるCGT(労働総同盟)のストライキだったので、アルゼンチン全土の交通が1日だけ止まりました。ストライキの理由は、ミレイ政権が進めている労働改革法に反対する意思表示の為に、1日の法定労働時間を12時間まで合法化できる(現行は8時間)ことやストライキ権の制限等で、施行されると従業員側に厳しくなります。私の事務所近くの繊維工場が閉鎖されたり、アルゼンチン唯一のタイヤメーカーであるFATEの工場が閉鎖されたり、政府の自由化政策に伴い、経営環境が厳しくなっています。国際競争の中で生き残る為には、労働環境を少しは厳しくせざるを得ないので、今回の労働改革法になったと私は理解しています。

- ・今回は、最近、統計上のインフレ率が収まってきているとはいえ、日常生活で物価高を感じる場面が多くなったので、現時点の物価について報告します。
- ・アルゼンチンの物価といっても、首都と地方都市では違いがあり、同じ市の中でも、専門店、スーパーマーケット等、店舗の形態によっても違い、スーパーマーケットによっても価格は違うので、あくまでも目安です。
- ・INDEC(アルゼンチン国家統計局)によると、消費者物価(CPI)の上昇率は、1月は前月比2.9%、12月は2.8%で、過去1年の上昇率は32.4%でした。物価が1年で30%以上も上昇するのは、日本の感覚からは大きいように思いますが、2023年は211%、2024年は118%だったので、数年前と比べれば、大幅に低くなっています。
- ・しかし、私の日常感覚では、例えば、最近の天候不順もあって、レタスが一月前より60%も値上がり、たまねぎが1000ペソ/3Kg買ったのに今は1400ペソ/2Kgで実質2倍増、散髪代は1年前と比べて2倍増等、何もかもが値上がりしている感じです。
- ・その中でも、この1年間以上、価格がほぼ同じなのは、米、ワイン、マテ茶、ピーナッツです。米は私にとって主食、ワインは肉料理に、マテ茶は日常の飲物、ピーナッツはビールのおつまみなので、値上がりしないのは有難いです。
- ・逆に上記4点以外は全て値上がりしており、下表は現時点の価格と日本との比較です。私は、日本より割高、例えば、魚や衣服、電化製品、100円ショップで売られているような日用品や文具等は基本的に買わないので、一般的なアルゼンチン人の購買傾向よりも偏りがあります。
- ・参考までに日本での価格を入れましたが、単純比較できません。例えば、野菜は、こちらでは、キズや変形があったり、常温で展示販売されているのに対して、日本では、形が整い、一部はパック詰めで冷温で展示販売されている等、条件が異なります。
- ・為替レートは、1ドル=155円=1400アルゼンチンペソで換算しました。アルゼンチンでは、かつてブルーレートと呼ばれる非公式レートがあり、公式レートと比較して、2~3割増しだったのですが、今は、ミレイ政権の政策により、ほぼ同じです。
- ・この表だけを見ると、日本の物価の方が高いように見えますが、全体的には、ほぼ同じ物価レベルと感じます。

サンティアゴデルエステロの物価(2026年2月末時点)

| | 単位 | ペソ | 円 | 日本では | 高いのは? |
|--------|---------|-------|--------|--|--------|
| 米 | 1Kg | 1300 | ¥144 | 最近少し値下がりして5Kgで約4000円 | 日本 |
| ワイン | 750ml | 3000 | ¥332 | 1000円以下のワインもあるが、紙パックか、コルク栓なし。 | 日本 |
| マテ茶 | 500g | 1500 | ¥166 | 緑茶が約400円 | 日本 |
| ピーナッツ | 250g | 1000 | ¥111 | 中国産は約200円、日本産は1000円以上。 | 日本 |
| タマゴ | 12個 | 3500 | ¥388 | 約300円、生で食べることができる。 | アルゼンチン |
| ジャガイモ | 1Kg | 800 | ¥89 | 約330円 | 日本 |
| たまねぎ | 1Kg | 700 | ¥78 | 約320円 | 日本 |
| トマト | 1Kg | 1500 | ¥166 | 約1500円、トマトシヨックと呼ばれるほど不作で価格高騰 | 日本 |
| スパゲッティ | 500g | 700 | ¥78 | 業務スーパーでも約140円 | 日本 |
| 牛肉 | 1Kg | 16000 | ¥1,771 | 輸入牛は100gあたり300円以上、和牛は1000円以上 | 日本 |
| 豚肉 | 1Kg | 8000 | ¥886 | 日本産で100gあたり300円以上 | 日本 |
| 鶏肉 | 1Kg | 6000 | ¥664 | 日本産鶏むね肉が100gあたり80円 | 日本 |
| ビール | 473ml | 1700 | ¥188 | 500ml、スーパーマーケットで270円。 | 日本 |
| ガソリン | 1L | 1800 | ¥199 | 約160円。税軽減で以前より値下がり。(逆にアルゼンチンでは、燃料税等が上乘せられた値上がり。) | アルゼンチン |
| ランチ | セットメニュー | 18000 | ¥1,993 | 1000円前後、水やお茶は無料、チップ不要。 | アルゼンチン |